

第1予算審査 特別委員会委員長 報告(抜粋)

審査報告 委員長 松枝友久
副委員長 古賀泰弘
委員 中島征行 徳永 豊
中島宗昭
松枝治幸

行財政改革の推進と 健全な行財政運営

景気の低迷等による増収は見込めず、地方交付税などについても、今後は、益々厳しなると思われる。更なる行財政改革の推進と健全な行財政運営を強く求める。

住居手当の熟考を

住居手当の増額の議案が可決されたが、最近の新聞によると、当手当てを廃止する方向にあり、社会情勢に逆行するものと考えられる。近隣市町の調査、社会変化の状況を的確に把握され、熟考されるよう要望する。

庁舎の維持管理の更新は

庁舎の維持管理費・保守管理については、計画的な施設設備の更新に努められ、二層の経費節減を望む。

電算業務のコスト低減

情報処理費の電算業務に係る経費は、多大な経費を要しており、他団体のコスト削減に向けた取組を調査され、一層の努力を願う。

LED防犯灯・防災行政無線

LED防犯灯への変更に伴い農作物に対する成育阻害の問題が発生している。計画的に整備を図るよう要望をした。新規事業として防災行政無線の整備を計画。

消防副団長体制強化

消防団員の確保については、分団、各部も大変な苦勞をされていると聞く。自主防災地域防災計画等でも検討してほしいと要望した。

消防団員の災害に対処するための訓練、資機材の計画的な備蓄及び防災体制の更なる強化を強く望む。

掘割環境向上の説明会

掘割環境の向上等に向けた説明会を29行政区にて予定。学習・啓発シンポジウムの開催や地域計画策定支援等を計画。

ICTの利活用向上を

単に情報通信サービスを提供するだけでなく、いろいろな面で住民サービスの向上に、努めていただくよう要望する。

第2予算審査 特別委員会委員長 報告(抜粋)

税務町民課の審査結果

人権同和関係については教育課でも同じような予算が計上されており、事業のスリム化の観点からも担当課間で充分検討されるよう求めた。

国民年金事業についても窓口対応をする中、各種免除制度を利用する対象者が年々増加傾向、免除制度の周知のみならず適切な加入の周知も望む。

健康福祉課の審査結果

社会福祉協議会に委託して実施している配食サービスの弁当を、給食センターで請負、調理できないか、社協との検討を求めた。

新規事業「胃がんのリスク検診」事業は、胃がん予防のため血液検査で、病気の早期発見をする画期的事業で、医師会に委託し実施。胃がんの早期発見に有効的な検診で、県内初の先進的な事業で、広く町民の皆様に周知を図るよう要望。

健康福祉センター費の委託料は、アクセスと循環センターの業務について、事業別に平成22年度の損益計算書収支状況を



現地視察状況

子ども未来課の審査結果

地域全体で子どもの育ちを支援し、見守るしくみづくりとして、地域の公民館をもっと活

校区コミュニティ 支援センター整備

新規事業として、大溝、大荒校区に整備するものであるが、木佐木地区については、年度中には、何らかの結論を出すべきと提言する。

地方バス路線維持

何らかの方策を検討する時期ではないかと提言する。

農業産業振興費

アスパラハウス等24,000㎡、農家数10戸、いちごハウスの省エネルギー対策で農家数3戸を計画。より一層の農業振興の推進を望む。

きのこ新品種開発研究費補助金

今後3年間で減額しながら終了の予定であった。しかしながら、昨年9月の決算審査特別委員会において、大木町のきのこ産業に多大な貢献をし、600人以上の雇用を創出してきているなど、支援を続ける必要があるとのことであるが、更なる検討、研究を願う。

土地改良費

筑後導水路事業費の負担金は、平成34年度まで負担が必要。クリーク防災機能保全対策負担金は、平成21年度から実施されている5%を負担、大

溝III期・北部・東部が25年度採 択される予定。大木町土地改 良区元利償還金補助金は、土 地改良事業への町負担分借入 への償還補助金。

商工振興費

プレミアム付き商品券への補助金は、大変好評で人気があると聞く、もつと増やせないのかとの発言があった。

セツトバック時の町負担

準都市計画指定に伴うセツトバックに伴い、寄付採納があった場合の経費を計上。4月1日より実施する、それ以前の分は、申し出があれば同じく取り扱う。また、セツトバックの部分と道路拡幅改良部分とで不平等との意見には、あくまでも法律に基づいて処理していくとのことである。

クリーク管理保全対策

新規事業の災害に強いため池等整備事業として、24年度事業予定箇所は、前牟田東、古賀、道本、中島地区、25年度は、笹淵、蛭池、道本、堀田地区。

花宗大田土木組合の存続は？

過去に、大木町より解散の発議をしたが、関係市より存続すべきであるとのことから現在に至っている。

農地整備費等

農村振興総合整備事業は、5か所が予定。道路維持費は、前牟田東地区の通学路の歩行者の安全確保を図る。

町は、狭あい道路として全体を把握しているのか、危機管理の面からも調査すべきと提言した。

大木町水道事業

公園費は、新規事業で、わんぱく広場安全柵設置工事を計上。柏原団地跡地での陸上の練習のために簡易トイレ設置を要望した。



審査の様子

審査報告

委員長 牟田口美智子
副委員長 山北 清四郎
委員 近藤 純久
井上 護
中島 和正
小島 裕司

環境課の審査結果

合併処理浄化槽の整備予算で、20万円の上乗せ補助は平成24年度まで、更に単独処理浄化槽などからの設置替えによる普及の推進。

また、合併処理浄化槽設置が困難な世帯や飲食店などの対策、適正な維持管理のためのシステム作りを今年度浄化槽整備・管理検討会委員報酬を予算化、具体的な対策を早急



審査の様子

使用する方法を考え、関係課と密に連携して事業展開を図るよう指示した。

子育て支援の在り方として、親の育児力の低下を招いたり、子ども自身の幸せという視点からマイナスとならないよう、子どもたちのための子育て支援、保護者の子育て支援、この理解と配慮を切望する。

また、大川市清掃センターの焼却炉が建替えの時期で、炉の延命化のために平成24年度・25年度に大規模改修が予定され、15年間焼却炉を延命化。ごみの減量化に対して更なる住民の協力が不可欠で町民への広報を強く要望。

道の駅が地域の活性化に結びつくよう、直売所・レストランの運営目標などを明確に、指定管理者と一体となって当初の目的達成のための事業を進めるよう強く要望。

学校教育課の審査結果

学校教育のみならず生涯学習力の向上からも教育委員会の充実を図っていただくよう要望。

家庭教育支援員は、身分が不安定であったため、23年度にきちんとした形で報酬等予算化している。活動を親身になってやっていただいている。反面、活動が重荷になっていないか交代するとき受け手がいないのではと危惧。ニーズが高まるにつれ支援員の増員を今後検討する必要性を述べた。

生涯学習課の審査結果

大溝小学校増改築工事で、審査に入る前に委員より、本会議上程以前に教育委員会の事前協議、確認が取れているのかとの意見があり、これを受け文書にて当委員会より教育委員会宛にこの工事について審査を依頼。今後も、当委員会と教育委員会としっかりと連携を図り、教育、行政課題のより良い解決に向けて協力を確認した。



審査の様子